

特定非営利活動法人

日本プロフェッショナルエンジニア協会

第12回通常総会

平成24年6月9日

議案

第1号議案 平成23年度活動報告、及び
決算承認の件

第2号議案 平成24年度活動計画案、及
び予算案審議の件

第3号議案 新役員選任の件

第 1 号議案 平成 23 年度活動報告と決算

平成 23 年度事業報告書

自 平成 23 年 4 月 01 日 至 平成 24 年 3 月 31 日

2011 年度は、*Uncover Social Resilience ~from Restoration to Creation~*
「今こそ示そう！社会的復元力・・・復興から創生へ」

というモットーのもと、以下の 3 点を重点項目に掲げ、活動を行って参りました。

- I. 東日本大震災等に関連する技術的テーマについて検討タスクフォースを結成します。
- II. 技術者倫理事例研究会を立ち上げます。
- III. PE 試験情報の発信・サポート及び州登録支援体制を強化します。

2011 年度の主な具体的活動を以下に記します。

- i. 会員への継続学習・技術向上の機会提供のため、以下を実施しました。
 - CPD セミナー（技術、環境、国際情勢など及びプロジェクトマネジメント）
 - エンジニアズサロン
- ii. PE 会員の PE 受験対策、および準 PE 会員の PE 登録を支援するチームを結成し、PE 受験・登録セミナーを実施しました。また、PE 受験・登録マニュアルの編集を開始しました。
- iii. 日本で実施された PE/FE 試験の支援・普及のため、以下を実施しました。
 - PE/FE 試験の JPEC 支援（会場設営補助、プロクター派遣など）
 - PE/FE 合格祝賀会を開催（JPEC との共催）
 - PE の州登録手続きの各州別の参考情報収集と発信
- iv. マガジンを 年 4 回発刊しました。
- v. NSPE の年次総会参加や、国内でのイベントなどを通じ、NSPE、NCEES、技術士会等国内外の団体との交流を図りました。
- vi. IT 利用の新しい情報発信手段（Twitter、ライブ等）の活用をトライしました。
- vii. 東日本大震災への対応として被災者への義援金の寄付、支援団体への支援金の寄付を実施しました。
- viii. 検討タスクフォースの企画と実施
 - ①メキシコ湾深海石油開発事故に関する情報調査
 - ②技術者倫理事例研究アドホックコミッティの 2 つのタスクフォースを立上げ、検討を進めてきました。

(文中略称)

JPEC: The Japan PE/FE Examiners Council (日本 PE・FE 試験協議会)

NSPE: National Society of Professional Engineers

NCEES: National Council of Examiners for Engineering and Surveying

以下に平成 23 年度に行いました事業の概要を報告します。

1. 会員数の状況	平成 23 年 3 月 31 日現在	平成 24 年 3 月 31 日現在
PE 会員	154	154(0)
準 PE 会員	41	43(+2)
EIT 会員	137	130(-7)
一般会員	32	33(+1)
学生会員	2	2(0)
合計	366	362 (-4)

2. <u>総会開催</u>	第 11 回通常総会 平成 23 年 6 月 4 日東京グランドホテルにて
平成 22 年度事業・決算報告承認 平成 23 年度事業・予算計画承認 新役員の選任と承認	
3. <u>理事会開催</u>	通常理事会 計 12 回開催
4. <u>セミナー開催</u> <ul style="list-style-type: none"> ● CPD セミナー（鬼金セミナーを含む） ● 特別 CPD セミナー ● PE 受験・登録セミナー 5. <u>記念行事</u> <ul style="list-style-type: none"> ● イヤーエンドパーティー ● PE、FE 合格祝賀会（1 回） 6. <u>PE/FE 試験応援（日本 PE・FE 試験協議会の要請による）</u> <ul style="list-style-type: none"> ● PE/FE 試験（試験会場：東京理科大学） 7. <u>エンジニアズサロン（討論会・勉強会）</u> <ul style="list-style-type: none"> ● 「エンジニアズサロン」（横浜） 8. <u>国際交流</u> <ul style="list-style-type: none"> ● NSPE Annual Meeting（Las Vegas, NV）に参加。福島や日本の原発の状況を報告するとともに各州と交流の機会を持った。 9. <u>他の組織との交流</u> <ul style="list-style-type: none"> ● PMI 日本支部, 京都技術士会等 10. <u>JSPE マガジン発行</u> <ul style="list-style-type: none"> ● 「日本人エンジニアの為の PE ハンドブック」 11. <u>PE 受験・登録マニュアル編集</u> <ul style="list-style-type: none"> ● 「日本人エンジニアの為の PE ハンドブック」 12. <u>東日本大震災への対応</u> <ul style="list-style-type: none"> ● 募金公募による被災者への義援金寄付 ● 活動資金の一部を支援団体へ支援金寄付 13. <u>検討タスクフォース</u> <ul style="list-style-type: none"> ● メキシコ湾深海石油開発事故に関する情報調査 ● 技術者倫理事例研究アドホックコミッティ 	23 回（関東 8 回、関西 13 回、名古屋 2 回） 1 回（総会時） 1 回 平成 23 年 12 月 10 日（関西）、 平成 23 年 12 月 17 日（東京） 平成 24 年 3 月 10 日（東京） 平成 23 年 10 月 30 日 5 回 平成 23 年 7 月 13 日～17 日 4 回

部会ごとの活動の概要を以下に示します。	
● 企画部会	エンジニアズサロン（計5回）、イヤーエンドパーティーを開催しました。 平成23年度事業報告書の立案、編集、校正、発行をしました。 技術者倫理事例研究アドホックコミッティの企画推進を行いました。
● 教育部会	CPDセミナー、PMPのコースセミナー（鬼金セミナー）を関東関西合計で計23回開催しました。
● 広報部会	行事の案内および記録を発信しました。 総会の模様をwebにてライブ配信しました。 Eメールにて、PE登録支援を含む各種問合せ対応を行いました。
● 渉外部会	NSPE、NCEESと交流を図り、各州との交流と各種改正情報を収集しました。技術士会やPMI等国内他団体との交流も実施しました。 PE受験・登録セミナーの開催やPE受験・登録マニュアルの編集を行いました。
● 会員部会	会員募集活動を通して新規会員を得ました。 PE・FE合格祝賀会を実施しました。 PE/FE試験の会場設営等支援、プロクター派遣を行いました。
● 会計部会	会計業務全般、税務署対応を実施しました。 平成23年度決算報告をしました。 平成24年度予算を作成しました。
● 総務部会	理事会、総会を開催しました。2010年度事業報告を都庁へ、役員改正に伴う届出書類を法務局および、都庁へ提出しました。 東日本大震災被災者支援活動として、寄付活動を実施しました。 JSPE細則の改定を行いました。 JSPEマガジンを発刊しました。
（関西分会）	教育部会と共同で以下のセミナーを開催しました。 CPDセミナー(5回)、PMP鬼金セミナー(13回)
（名古屋分会）	教育部会と共同で以下のセミナーを開催しました。 CPDセミナー(3回)

第1号議案 平成23年度決算

平成23年度 特定非営利活動に係る事業会計収支

平成23年4月1日から平成24年3月31日まで

特定非営利活動法人
日本プロフェッショナルエンジニア協会

科 目	予 算 額	決 算 額	差 額	執行率
I 収入の部	(円)	(円)	(円)	
1 入会金収入	72,000	54,000	-18,000	75.0%
2 会費収入				
・正会員会費	1,794,000	1,812,750	18,750	101.0%
・準会員会費	1,589,000	1,503,500	-85,500	94.6%
・賛助会員会費	100,000	-	-100,000	0.0%
会費収入合計	3,483,000	3,316,250	-166,750	95.2%
3 事業収入				
・研修、教育事業	2,126,000	1,317,500	-808,500	62.0%
・調査研究、情報収集/提供事業	175,000	164,391	-10,609	93.9%
・機関紙、出版物の発行事業	24,800	29,480	4,680	118.9%
事業収入合計	2,325,800	1,511,371	-814,429	65.0%
4 補助金等収入	-	-	-	-
5 寄付金収入 (個人寄付金)	-	-	-	-
6 雑収入	20,000	-	-20,000	-
7 基盤整備積立金取崩収入	-	-	-	-
8 受取利息	5,000	3,473	-1,527	69.5%
当期収入の部合計 (A)	5,905,800	4,885,094	-1,020,706	82.7%
II 支出の部				
1 事業費				
・研修、教育事業	2,475,000	1,228,409	-1,246,591	49.6%
・調査研究、情報収集/提供事業	1,537,750	1,485,023	-52,727	96.6%
・機関紙、出版物の発行事業	304,800	366,750	61,950	120.3%
事業費支出合計	4,317,550	3,080,182	-1,237,368	71.3%
2 管理費				
・役員報酬	-	-	-	-
・給料手当	111,111	-	-111,111	0.0%
・福利厚生費	20,000	5,827	-14,173	29.1%
・会議費	40,000	-	-40,000	0.0%
・旅費交通費	401,000	285,010	-115,990	71.1%
・通信運搬費	250,000	187,852	-62,148	75.1%
・消耗品費	50,000	2,078	-47,922	4.2%
・印刷製本費	150,000	14,175	-135,825	9.5%
・光熱水料費	-	-	-	-
・賃借料	315,000	315,000	-	100.0%
・保険料	-	4,200	4,200	-
・租税公課	20,000	-	-20,000	0.0%
・渉外費	50,000	-	-50,000	0.0%
・広告費	-	-	-	-
・事務用品費	50,000	64,808	14,808	129.6%
・図書新聞費	30,000	-	-30,000	0.0%
・手数料	40,000	12,345	-27,655	30.9%
・図書購入支出	-	-	-	-
・雑費	70,000	1,000	-69,000	1.4%
・東日本大震災社会貢献費用	300,000	300,000	-	-
管理費支出合計	1,897,111	1,192,295	-704,816	62.8%
3 予備費	100,000	-	-100,000	0.0%
4 基盤整備積立金支出	-	-	-	-
当期支出の部合計 (B)	6,214,661	4,272,477	-1,942,184	68.7%
当期収支差額 (A) - (B) = (C)	-308,861	612,617	921,478	-
前期繰越収支差額 (D)		2,007,554		
次期繰越収支差額 (C) + (D)		2,620,171		

第1号議案 平成23年度決算

平成23年度 特定非営利活動に係る正味財産増減計算書

平成23年4月1日から平成24年3月31日まで

特定非営利活動法人
日本プロフェッショナルエンジニア協会

科目・摘要	金額 (円)	
1 一般正味財産増減の部		
1 経常増減の部		
(1) 経常収益		
① 受取入会金	54,000	
② 正会員受取会費	1,812,750	
③ 準正会員受取会費	1,503,500	
④ 賛助会員受取会費	-	
⑤ 研修・教育事業収益	1,317,500	
⑥ 調査研究等の事業収益	164,391	
⑦ 機関誌等の発行事業収益	29,480	
⑧ 受取利息	3,473	
⑨ 雑収入	-	
⑩ 寄付金収入(個人寄付金)	-	
経常収益計		4,885,094
(2) 経常費用		
① 研修・教育事業費	1,228,409	
② 調査研究等の事業費	1,485,023	
③ 機関誌等の発行事業費	366,750	
④ 管理費		
役員報酬	-	
給料手当	-	
福利厚生費	5,827	
会議費	-	
旅費交通費	285,010	
通信運搬費	187,852	
消耗品費	2,078	
印刷製本費	14,175	
光熱水料費	-	
賃借料	315,000	
保険料	4,200	
租税公課	-	
渉外費	-	
広告費	-	
事務用品費	64,808	
図書新聞費	-	
手数料	12,345	
為替差損	-	
雑費	1,000	
印刷物棚卸調整額	9,975	
寄付金	300,000	
経常費用計		4,282,452
当期経常増減額		602,642
2 経常外増減の部		
(1) 経常外収益計		
該当なし	-	
経常外収益計		-
(2) 経常外費用		
該当なし	-	
経常外費用計		-
当期経常外増減額		-
当期一般正味財産増減額		602,642
一般正味財産期首残高		4,613,838
一般正味財産期末残高		5,216,480

第1号議案 平成23年度決算

平成23年度「特定非営利活動に係る事業」会計貸借対照表

平成24年3月31日現在

特定非営利活動法人
日本プロフェッショナルエンジニア協会

科 目	金 額 (円)		科 目	金 額 (円)	
I 資産の部			II 負債の部		
1 流動資産			1 流動負債		
現金預金	1,713,180		預り金	1,660	
貯蔵品	84,864		前受金	98,750	
未収入金	327,177		未払金	172,754	
前払費用	-		未払費用	-	
仮払金	28,312		流動負債合計		273,164
流動資産合計		2,153,533			
2 固定資産			2 固定負債		
・特定資産			該当なし	-	
基盤整備積立金	3,095,450		固定負債合計		-
		3,095,450	負債合計		273,164
・その他固定資産					
什器備品	-		III 正味財産の部		
図 書	208,321		前期繰越正味財産	4,613,838	
電話加入権	32,340		当期正味財産増加額	602,642	
固定資産合計		240,661	正味財産合計		5,216,480
資産の部合計		5,489,644	負債及び正味財産の部合計		5,489,644

第1号議案 平成23年度決算

平成23年度特定非営利活動に係る比較貸借対照表

特定非営利活動法人
日本プロフェッショナルエンジニア協会

貸借対照表科目	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
I. 資産の部：				
1. 流動資産				
現金預金	1,056,111	2,964,779	1,697,610	1,713,180
貯蔵品	111,952	127,153	91,059	84,864
未収入金	302,200	125,000	235,990	327,177
前払金（前払費用）	200,000	-	-	-
仮払金	45,001	35,349	91,754	28,312
流動資産合計	1,715,264	3,252,281	2,116,413	2,153,533
2. 固定資産				
・特定資産				
基盤整備積立金	1,584,958	1,588,584	3,092,114	3,095,450
・その他固定資産				
什器備品	52,725	-	-	-
図書	208,321	208,321	208,321	208,321
電話加入債	32,340	32,340	32,340	32,340
固定資産合計	1,878,344	1,829,245	3,332,775	3,336,111
資産の部合計：	¥ 3,593,608	¥ 5,081,526	¥ 5,449,188	¥ 5,489,644
II. 負債の部：				
1. 流動負債				
前受金	152,000	1,116,750	438,750	98,750
未払金	21,000	21,000	96,600	172,754
未払費用	-	-	300,000	-
預かり金	-	-	-	1,660
流動負債合計	173,000	1,137,750	835,350	273,164
2. 固定負債				
固定負債合計	-	-	-	-
負債合計	173,000	1,137,750	835,350	273,164
III. 正味財産の部				
前期繰越正味財産	3,316,891	3,420,608	3,943,776	4,613,838
当期正味財産増加	103,717	523,168	670,062	602,642
正味財産合計	3,420,608	3,943,776	4,613,838	5,216,480
負債及び正味財産の部合計：	¥ 3,593,608	¥ 5,081,526	¥ 5,449,188	¥ 5,489,644

第1号議案 平成23年度決算

以上の通りご報告申し上げます。

平成24年 5月 6日

会長 土屋 雅彦



監 査 報 告 書

日本プロフェッショナルエンジニア協会監事は、同法人の平成23年度（平成23年4月1日から平成24年3月31日）までの事業報告に関して、理事の業務執行状況および法人の財産状況について、監査を実施しました。

その結果、同法人の事業報告、収支計算書、正味財産増減計算書、貸借対照表並びに財産目録は適正と認めます。

平成24年 5月 6日

監事 日野 隆



監事 丹下 稔彦



平成24年05月07日

107-0062
東京都港区赤坂2-10-17
石原ビル2F
日本プロフェッショナルエンジニア協会 様

東京貯金事務センター

送付書

いつもゆうちょ銀行をご利用いただき、誠にありがとうございます。
さて、先日ご請求のありました振替口座残高証明書を送付いたしますので、ご査収ください。

問い合わせ先
東京貯金事務センター 振替口座課
TEL: 048-600-3560 受付時間: 平日 8:30~17:15

振替口座残高証明書

口座番号 00190 - 6 - 449293

加入者名 日本プロフェッショナルエンジニア協会

平成24年3月31日 現在の口座現在高

***** 1,302,108 円

上記のとおり証明します。



平成24年05月16日

107-0052
東京都港区赤坂2-10-17
石原ビル2F
日本PE協会 様

東京貯金事務センター

送付書

いつもゆうちょ銀行をご利用いただき、誠にありがとうございます。
さて、先日ご請求のありました振替口座残高証明書を送付いたしますので、ご査収ください。

問い合わせ先
東京貯金事務センター 振替口座課
TEL: 048-600-3560 受付時間: 平日 8:30~17:15

振替口座残高証明書

口座番号 00120 - 3 - 562335

加入者名 日本PE協会

平成24年3月31日 現在の口座現在高

***** 46,240 円

上記のとおり証明します。



貯金残高証明書

日本PE協会 様

ご請求のありました、日本PE協会様名義の貯金の平成24年3月31日現在における貯金の残高は、下記のとおりであることを証明いたします。

ゆうちょ銀行 京橋店 長



記

貯金の種類	記号番号	残高 又は元金	備考
完額郵便貯金	50520-1233892-01	¥100000	「平成24年3月31日現在」 「平成24年3月31日現在」 「平成24年3月31日現在」
完額郵便貯金	50520-1233892-02	¥58000	「平成24年3月31日現在」 「平成24年3月31日現在」 「平成24年3月31日現在」

- 注1 この証明書の金額は訂正いたしません。
 注2 積立郵便貯金、定期郵便貯金、定期郵便貯金、住宅積立郵便貯金及び教育積立郵便貯金（預入期間等の経過により通常郵便貯金となっているものを含みます。）につきましては、独立行政法人郵便貯金・簡易生命保険管理機構が管理する郵便貯金です。当行は、同管理機構から郵便貯金管理業務の委託を受けて証明しています。

記 4992801

貯金残高証明書

日本PE協会 様

ご請求のありました、日本PE協会様名義の貯金の平成24年3月31日現在における貯金の残高は、下記のとおりであることを証明いたします。

ゆうちょ銀行 京橋店 長



記

貯金の種類	記号番号	残高 又は元金	備考
通常貯金	10190-398131	¥16018	
貯蓄生貯貯金	10190-398131-01	¥1500.000	「平成24年3月31日現在」 「平成24年3月31日現在」 「平成24年3月31日現在」

- 注1 この証明書の金額は訂正いたしません。
 注2 積立郵便貯金、定期郵便貯金、定期郵便貯金、住宅積立郵便貯金及び教育積立郵便貯金（預入期間等の経過により通常郵便貯金となっているものを含みます。）につきましては、独立行政法人郵便貯金・簡易生命保険管理機構が管理する郵便貯金です。当行は、同管理機構から郵便貯金管理業務の委託を受けて証明しています。

記 4992801

第2号議案 平成24年度活動計画と予算

平成24年度活動計画

自 平成24年4月01日 至 平成25年3月31日

昨年、3月11日の東日本大震災と、その後発生した福島第1原子力発電所メルトダウン事故という衝撃的な出来事を踏まえ、「エンジニアの社会的責任」について深く考え、よりよい社会を復元する力となろうという問題意識をもって活動を実施してきました。その議論の延長線として、私達が改めて注目してみたいと考える課題は、「社会」「企業」「個人」の良き関係とは何か?というものです。「社会」「企業」「個人」は、それぞれ前者が後者を包含するような単純な同心円構造だと考えてよいでしょうか?どうもそうではなく、三者はお互いに他者に飲み込まれてしまうようなことのない緊張感を持った関係であることが望ましいのではないのでしょうか。

この三者の関係の中でいう「社会」というのも定義してみようとする、なかなか難しい問題を秘めています。「社会」とは何か?法治国家においては、当然、国家あるいは州という行政区分になると思いますが、今日のように、「企業」の活動が、完全に国境を越える時代にあっては、「社会」という枠組み、そのものも見直しが必要かもしれません。一方、「個人」レベルでも、既に国境を越えた流動化現象は始まっています。

エンジニアリングという活動、あるいは技術革新というのは、根源的に、多かれ少なかれ社会を変えようことを期待される職業であると思います。しかし、当然、そこには、光と影がありうのですが、昔と異なって、一人の発明家、あるいは名人が突破口を開くという時代ではなくなっています。PEという個人も、限定的な責任や能力しか保有しない弱い一個の存在であるということも念頭において、2012年は、次の問題に取り組んでみたいと思います。

Innovative Roles of Professional Engineers in Industry

「企業内PEの役割について考える」

極めて古典的なテーマですが、特に我が国の場合には、大多数のPE資格保持者が、企業に所属している現実を踏まえて、一度正面から取り組んでみたいと思います。巨大化した複雑なシステムの設計や製造・保守といった活動は、企業あるいは、チーム（多くの場合、今後は、国際プロジェクトになることを前提とすべき）としての高い能力・社会性の自覚が求められるものと考えます。私達PEは、所属する組織の中でどういう使命をもつべきか、一度議論してみたいと考えています。

具体的には、以下の活動を計画しております。

1. <u>教育活動</u> <ul style="list-style-type: none">● CPDセミナー● 特別CPDセミナー● プロジェクトマネジメントセミナー● ビジネス英語コミュニケーションセミナー	年12回(東京8回、関西4回) 年1回 (総会時) 年6回(東京3回、関西3回) 年10回
2. <u>記念行事</u> <ul style="list-style-type: none">● イヤーエンドパーティー● PE、FE 合格者祝賀会開催	12月 (東京、関西) 9月、3月 (東京)
3. <u>PE/FE 試験応援 (日本PE・FE 試験協議会への応援)</u> <ul style="list-style-type: none">● PE/FE 試験	4月、10月 (東京)
4. <u>PE 制度啓発活動及びPE 登録支援活動</u>	

<ul style="list-style-type: none"> ● PE 受験・登録セミナーの開催 ● 「日本人エンジニアの為の PE ハンドブック」発行 	<p>年 2 回 6 月</p>
<p>5. <u>エンジニアズサロン・カフェ（討論・勉強・交流会）開催</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 「エンジニアズサロン」（東京または横浜） 	<p>年 6 回</p>
<p>6. <u>国際交流</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ● NSPE 年次総会への参加 ● NSPE との共催セミナーの開催 	<p>7 月</p>
<p>7. <u>他の組織との交流</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 横須賀 PE との交流再開 ● 京都技術士会との交流 	<p>年 1～2 回 随時</p>
<p>8. <u>広報活動</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ● ホームページ改訂 ● JSPE マガジン発行 	<p>年 1 回 年 4 回</p>
<p>9. <u>理事会・総会</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 理事会 ● 総会 	<p>年 12 回 6 月（東京）</p>
<p>10. <u>その他</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 地方部会支援 ● JSPE の認知活動 ● 事業報告書作成 ● 情報通信設備の充実 	<p>随時 随時 年 1 回</p>

これらを実現していくために、以下の点を強化していきます。

1. 新入会員の獲得（会員数の増加）と JSPE 会員へのサービス（特に州登録の支援）
2. JPEC（日本 PE/FE 試験協議会）との連携の強化
3. 広報活動（国内外）の強化
4. 賛助会員・協賛企業の獲得
5. 女性会員の増加と地域・ライフスタイル等の多様化に対応した会員サービスの改善
6. 役員は技術者倫理の普及及び定着のためのアクションを起こす

第2号議案 平成24年度予算

平成24年度 特定非営利活動に係る事業収支予算書

平成24年4月1日から平成25年3月31日まで

特定非営利活動法人

日本プロフェッショナルエンジニア協会

科 目	平成23年度決算額	平成24年度予算額	差 額
I 収入の部	(円)	(円)	(円)
1 入会金収入	54,000	93,000	39,000
2 会費収入			
・正会員会費 (PE)	1,812,750	1,860,000	47,250
・準会員会費 (PEN, FE, AF, ST)	1,503,500	1,731,000	227,500
・賛助会員会費	-	-	-
会費収入合計	3,316,250	3,591,000	274,750
3 事業収入			
・研修、教育事業	1,317,500	1,899,000	581,500
・調査研究、情報収集/提供事業	164,391	65,000	-99,391
・機関紙、出版物の発行事業	29,480	32,200	2,720
事業収入合計	1,511,371	1,996,200	484,829
4 補助金等収入	-	-	-
5 寄付金収入	-	-	-
6 雑収入	-	20,000	20,000
7 受取利息	3,473	-	-3,473
当期収入の部合計 (A)	4,885,094	5,700,200	815,106
II 支出の部			
1 事業費			
・研修、教育事業	1,228,409	2,443,400	1,214,991
・調査研究、情報収集/提供事業	1,485,023	846,000	-639,023
・機関紙、出版物の発行事業	366,750	907,950	541,200
事業費支出合計	3,080,182	4,197,350	1,117,168
2 管理費			
・役員報酬	-	-	-
・給料手当	-	-	-
・福利厚生費	5,827	-	-5,827
・会議費	-	150,000	150,000
・旅費交通費	285,010	300,000	14,990
・通信運搬費	187,852	235,000	47,148
・消耗品費	2,078	-	-2,078
・印刷製本費	14,175	60,000	45,825
・光熱水料費	-	-	-
・賃借料	315,000	315,000	-
・保険料	4,200	4,000	-200
・租税公課	-	10,000	10,000
・渉外費	-	40,000	40,000
・広告費	-	-	-
・事務用品費	64,808	180,000	115,192
・図書新聞費	-	30,000	30,000
・手数料	12,345	20,000	7,655
・雑費	1,000	40,000	39,000
・什器備品購入支出	-	160,000	160,000
・東日本大震災社会貢献費用	300,000	-	-300,000
管理費支出合計	1,192,295	1,544,000	351,705
3 予備費	-	100,000	100,000
4 基盤整備積立金支出	-	-	-
当期支出の部合計 (B)	4,272,477	5,841,350	1,568,873
当期収支差額 (A) - (B) = (C)	612,617	-141,150	-753,767
前期繰越収支差額 (D)	2,007,554	2,620,171	612,617
次期繰越収支差額 (C) + (D)	2,620,171	2,479,021	-141,150

第3号議案 新役員選出の件

定款第14条に従い、下記新役員候補の承認をお願いします。

役職	会員番号	氏名	新・再任
理事	PE-0044	野本 泰之	新任
理事	PE-0145	鈴木 央	新任